

日本語教師【初任】(海外) 研修における教育内容 (案)

| 3 領域 | 5 区分 | 16 下位区分 | 教育内容 | |
|-----------|----------|------------------|---|---|
| コミュニケーション | 社会・文化・地域 | ①世界と日本 | (1) 国際関係・国際情勢 ・赴任国・地域と日本との関係・情勢 | |
| | | ②異文化接触 | (2) 海外における日本語学習者の状況 ・赴任国・地域における日本語・日本文化との接触状況 | |
| | | ③日本語教育の歴史と現状 | (3) 赴任国・地域の日本語教育事情 | |
| | 言語と社会 | ④言語と社会の関係 | (4) 赴任国・地域の言語施策 ・赴任国・地域における言語教育施策 ・赴任国・地域における日本語の位置づけ ・教育機関相互の言語教育の接続 (アーティキュレーション) | |
| | | ⑤言語使用と社会 | (5) 日本語とキャリア開発 | |
| | | ⑥異文化コミュニケーションと社会 | (6) 赴任国・地域における多文化社会 ・複文化・複言語／多文化・多言語 ・日系社会と継承語教育, アイデンティティ | |
| | 言語と心理 | ⑦言語理解の過程 | | |
| | | ⑧言語習得・発達 | (7) 言語習得と人の発達 ・発達段階に応じた言語学習 ・母語と第二言語の習得 ・言語習得と人間形成 | |
| | | ⑨異文化理解と心理 | | |
| | 言語に関する領域 | 言語と教育 | ⑩言語教育法・実習 | (8) 演習 ・対象別指導法 ・教材分析・教材作成 ・評価法 ・授業観察・模擬授業 ・振り返り・自己点検 ・シラバス・カリキュラム作成・改善* |
| | | | ⑪異文化間教育とコミュニケーション教育 | (9) 異文化マネジメント ・異文化理解教育 ・コミュニケーションに関する言語・文化間対照 |
| | | | ⑫言語教育と情報 | (10) 教材・教具のリソース ・eラーニング, ICT ツール (SNS など) |
| | | 言語 | | ⑬言語の構造一般 |
| | | | ⑭日本語の構造 | |
| | | | ⑮言語研究 | |
| | | | ⑯コミュニケーション能力 | |

| | |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">コーディネーター能力</p> | <p>(12)赴任国・地域の言語での基礎的なコミュニケーション能力</p> <p>(13) 海外での実務及び関係者との連携のための能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント能力 (セルフマネジメント, チームマネジメント*) ・ネットワーキング力* ・人材育成能力* ・危機管理能力 |
|---|---|

注) *は, 日本語教育コーディネーターに求められる資質・能力であるが, 赴任国・地域の事情等必要に応じて, 日本語教師(初任:海外)の研修に組み込む場合がある項目。
研修内容は, 赴任国・地域及び研修受講者の日本語教育経験等によって異なるものであり, 上記全ての内容を必須とするものではない。